

# 事業概要

## 第6号

平成15年度



ドリアス

富山県中央植物園

# 目 次

## 平成15年度 事業概要

目次.....	1
I 庶務	
1. 沿革.....	2
2. 整備概要.....	2
3. 利用案内.....	3
4. 組織.....	4
5. 招聘客員研究員.....	5
6. 講師等派遣.....	5
7. 委員等.....	5
8. 研修生等の受入.....	6
9. 視察研修等受入.....	7
10. 行政バス.....	8
II 植物管理事業	
1. 収集植物現況.....	9
2. 新規導入植物.....	10
3. 分譲植物.....	11
III 教育普及事業	
1. 催事記録.....	12
2. 印刷・出版.....	13
3. 新聞・雑誌等への寄稿.....	14
4. 新聞記事.....	14
5. 取材対応.....	14
6. リファレンス(質問対応)状況.....	15
IV 資料収集事業	
1. 標本資料現況.....	16
2. 文献資料現況.....	16
V 調査研究事業	
1. 研究体制.....	17
2. 研究課題.....	17
3. 富山県中央植物園研究報告第9号の発行.....	17
4. 平成15年度研究発表.....	17
5. 著書・論文・学会発表等.....	18
VI 参考資料	
1. 施設概要.....	19
2. 施設平面図.....	20
3. 整備事業費.....	21
4. 利用統計.....	22
5. 例規.....	24
6. 愛称とシンボルマーク.....	26

# I 庶務

## 1. 沿革

富山県では県内の優れた植生地や公園・緑地などをそれぞれ特色のある専門植物園として整備し、これらをネットワーク化することにより、県土全体として一つの植物公園の形成をめざす全国的にもユニークな「富山県植物公園構想」を推進している。

「富山県中央植物園」は、この植物公園ネットワークの核となる施設として平成元年から整備が進められ、平成5年10月1日に屋外展示園を開園し、その後、展示温室やサンライトホール、中国雲南省の植物と「石林の石」を配した雲南コーナー等を整備して平成8年4月26日に全面開園した。平成10年10月には中国雲南省から導入した植物を育成・展示するための「雲南温室」の建設が始まり、平成12年2月18日に完成、一般公開された。平成14年9月10日には憩いの場や学習の場として多目的に利用可能なドリアスホールの建設に着工し、平成15年3月14日に完成した。

昭和58年 4月	「富山県民総合計画」において植物公園設置の検討
昭和60年 2月	「富山県グリーンプラン」において植物公園設置の計画提示
昭和60年 7月	「富山県植物公園構想懇談会」設置
昭和63年12月	同懇談会において「富山県植物公園基本構想」策定
平成元年 6月	「富山県植物公園整備委員会」設置
平成元年11月	同委員会から「富山県植物公園について」報告 (中央植物園・専門植物園の機能分担、整備方向、候補地等)
平成 2年 3月	富山県中央植物園設計競技
平成 2年 8月	基本設計
平成 3年 5月	造成工事起工式
平成 5年10月	開園(屋外展示園公開)
平成 7年 9月	建築工事定礎式
平成 8年 4月	全面開園(展示温室公開)
平成 8年 5月	中国科学院昆明植物研究所と友好協定調印
平成10年 8月	全面開園後の入園者30万人達成
平成10年10月	雲南温室着工
平成12年 2月	雲南温室完成
平成12年10月	中国科学院昆明植物研究所と共同研究に関する合意書調印
平成13年 4月	開園後の入園者50万人達成
平成14年 9月	ドリアスホール(多目的小ホール)着工
平成15年 3月	ドリアスホール完成

## 2. 整備概要

(1)所在地 富山県婦負郡婦中町上轡田42

(2)敷地面積 24.7 ha

(3)主要施設	①管理研修棟	1棟 1,310㎡
	②展示温室(熱帯雨林植物室、ラン温室、熱帯果樹室、高山植物室、雲南温室)	5棟 2,713㎡
	③栽培温室(熱帯温室、暖温帯室、温帯温室、冷室、雲南温室他)	5棟 1,077㎡
	④サンライトホール・エネルギー棟	1棟 1,614㎡
	⑤ドリアスホール	1棟 155㎡

(4)展示植物	約 4,200種類、	92,100本(株) (※種類数は重複分を除いた数)
	・屋外展示園	約2,140種類
	・展示温室内	約1,200種類
	・栽培温室・圃場	約2,500種類

(5) 整備期間および事業費

期間	整備内容	事業費	備考
平成元年～7年度	施設整備、植栽等	9,242	地域総合整備事業債 (ふるさとづくり事業)
平成10年～11年度	雲南温室	204	ふるさと環境整備事業
平成14年度	多目的小ホール（ドリアスホール）	40	木材産業経営革新公共施設 等整備事業

単位：百万円

3. 利用案内（平成15年4月1日現在）

(1) 開園時間 午前9時～午後5時（入園は午後4時30分まで）

冬季（11月～2月）は午前9時～午後4時30分、入園は午後4時まで

(2) 休園日 毎週木曜日（木曜日が国民の祝日の場合は開園）、および12月28日～1月4日

(3) 入園料

区分	個人	団体(20人以上)
大人(高校生以上)	600円	480円
小人(小・中学生)	300円	240円

● 減免基準（全額免除）平成5年9月制定、平成14年3月28日改正

- ① 小学校、中学校、高等学校、盲学校、聾学校、養護学校の児童又は生徒が、日曜日、土曜日または祝日に入園するとき。
- ② 児童・生徒、引率者が教育活動又は社会教育関係団体の教育活動として入園するとき。
- ③ 児童福祉施設、身体障害者更生援護施設、知的障害者援護施設に入所している者並びにこれらの引率者が入園するとき。
- ④ 身体障害者手帳の所持者及びその付添者が入園するとき。
- ⑤ 療育手帳を所持する者及びその付添者が入園するとき。
- ⑥ 精神障害者保健福祉手帳の所持者及びその付添者が入園するとき。
- ⑦ サクラ観賞日に入園するとき。

(4) 交通機関

● バス利用

- ・ 富山地鉄バス
- JR富山駅（12番乗場）発 29系統
- 萩の島循環線
- 中央植物園前停留所下車、徒歩約1分

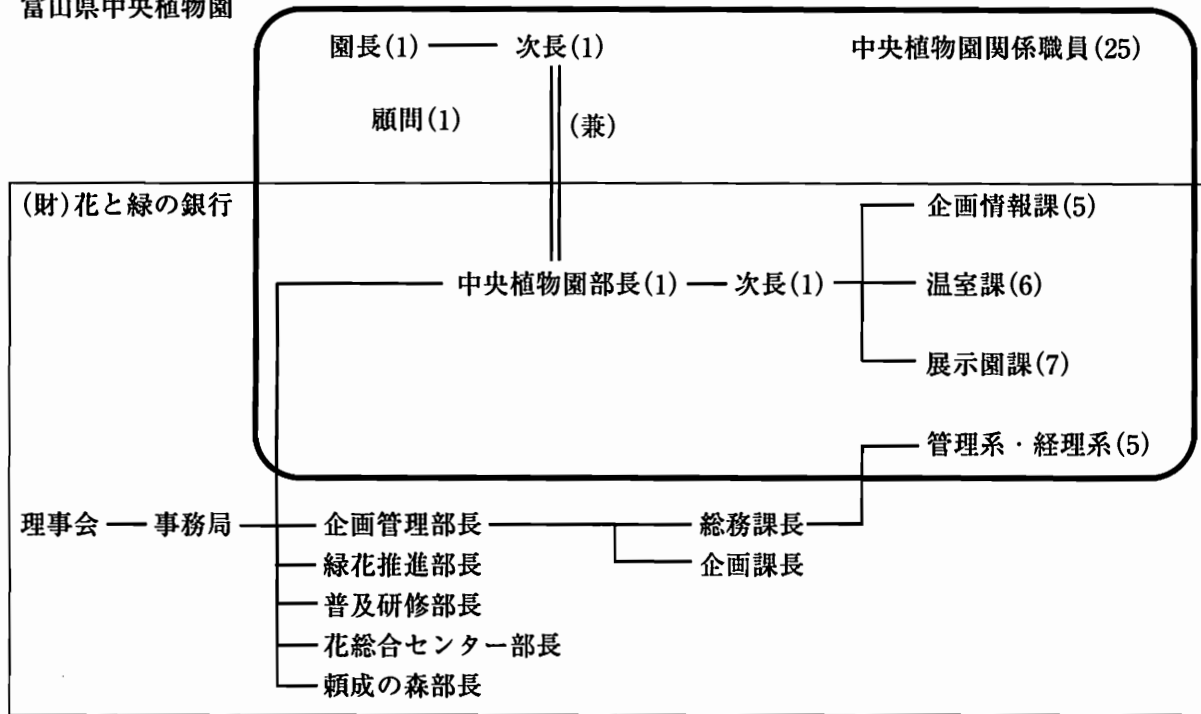
● 自動車利用

- ・ 富山市中心部より約15分
- ・ 北陸自動車道富山インターより
- 婦中大橋経由約15分
- ・ JR速星駅より約8分

4. 組織

(1) 組織図

富山県中央植物園



(2) 職員

富山県中央植物園

園長	黒川 遼 (平成15年4月1日～5月31日) 川湖嘉久 (平成15年6月1日～8月31日) 内村悦三 (平成15年9月1日～)
顧問	黒川 遼 (平成15年6月1日～)
次長	加藤治好

(財)花と緑の銀行 中央植物園部

部長 (温室課長兼務)	加藤治好	県中央植物園次長
次長 (展示園課長兼務)	三上正男	県派遣職員 (主幹)
企画情報課 課長	中田政司	県派遣職員 (副主幹研究員)
主任	橋屋 誠	
主任	高橋一臣	
技師	志内利明	
技師	村家直樹	県派遣職員 (技師)
温室課 主任研究員	神戸敏成	県派遣職員 (主任研究員)
主任	吉田めぐみ	
主任	兼本 正	
技師	大原隆明	
業務技師	栗林信夫	
展示園課 主任研究員	大宮 徹	県派遣職員 (主任研究員)
主任研究員	山下寿之	県派遣職員 (主任研究員)
専門員	谷口松義	
専門員	大森 博	
業務技師	桐林浩二	
業務技師	浅野 豊	

(財)花と緑の銀行 企画管理部

総務課 主事	恒川利一
(一部) 嘱託	澤井光恵
嘱託	高井芳美
嘱託	坂井きよみ
嘱託	内山朋子

5. 平成15年度招聘客員研究員

氏名	現職	指導分野	期間
植田邦彦	金沢大学大学院自然科学研究科教授	植物分子系統学	15.11.19～20
岡田 博	大阪市立大学理学部教授	植物細胞分類学・植物進化適応学	15.11.25～26
出口博則	広島大学大学院理学研究科教授	蘚苔類の系統分類学	15.12.17

6. 平成15年度講師等派遣

年月日	氏名	内容	依頼者
15.8.30	中田政司	まち探検ワークショップ 「たかおか・川の絵本をつくろう」	200X年まちづくりの会 from高岡
15.8.31	大原隆明 ・山下寿之	友の会観察会	富山県中央植物園友の会
15.9.25-26	山下寿之	第6回自然環境保全基礎調査植生調査指導	環境省
15.9.27	橋屋 誠	「きのこについて」	氷見市海浜植物園
15.10.10-11	橋屋 誠	「きのこ観察会」	朝日町立福井総合植物園
15.10.18	内村悦三	指導「竹炭・竹酢液について」	竹資源活用フォーラム
15.10.18	橋屋 誠	「どきどききのこ楽校」	有峰森林文化村
14.10.19	橋屋 誠	「キノコ観察と鑑賞会」	県民公園頼成の森
15.11.2	橋屋 誠	きのこ部会きのこ観察会	富山県中央植物園友の会
15.11.2	桐林浩二	県民緑化オープン講座 庭木の手入れ（剪定・雪囲いなど）	富山県花総合センター
15.11.15	山下寿之	ナチュラリスト研修会	とやま環境財団
15.11.16	内村悦三	講演「人と竹の関わり」八幡市民講座	京都府八幡市
15.11.29	内村悦三	講演「現代に活かされる竹」 第7回竹ものがたり	佐賀県東背振村商工会
16.1.27	山下寿之	朝日社叢保護検討委員会	氷見市教育委員会
16.2.14	中田政司 ・大原隆明	植物研修会	NPO法人富山の自然と緑の会
16.3.28	内村悦三	講義「科学の目で竹を知る」Zoo21市民講座	富山市ファミリーパーク

7. 平成15年度委員等

期間	氏名	内容	依頼者
平成15年度	黒川 道	国立科学博物館筑波研究資料センター 筑波実験植物園運営委員会運営委員	独立行政法人国立科学博物館
平成15年度 ～5.31まで	黒川 道	(社)日本植物園協会評議員	(社)日本植物園協会
平成15年度	黒川 道	(財)服部植物研究所評議員	(財)服部植物研究所
平成15年度	内村悦三	地球環境100人委員	地球環境関西フォーラム
平成15年度	内村悦三	熱帯林放棄バイオマス再資源化支援調査委員	(財)国際緑化推進センター
平成15年度	内村悦三	途上地域混牧林経営推進確立調査事業委員	(社)海外林業コンサルタント協会
平成15年度	内村悦三	地域住民森林管理実証調査事業委員	(社)海外林業コンサルタント協会
平成15年度	内村悦三	(社)日本植物園協会評議員	(社)日本植物園協会
平成15年度	内村悦三	(社)日本植物園協会研究委員会委員	(社)日本植物園協会
平成15年度	内村悦三	竹資源活用フォーラム会長	竹資源活用フォーラム
平成15年度	内村悦三	竹文化振興協会常任理事	竹文化振興協会
平成15年度	内村悦三	京都竹文化振興財団理事	京都竹文化振興財団
平成15年度	内村悦三	日本竹協会副会長	日本竹協会
平成15年度	内村悦三	森林経営研究所理事	森林経営研究所
平成15年度	内村悦三	日本林業技術協会技術指導役	日本林業技術協会
平成15年度	内村悦三	日本林業同友会技術参与	日本林業同友会

平成15年度	内村悦三	Journal of Bamboo and Rattan 編集委員	International Bamboo and Rattan (北京)
平成15年度	内村悦三	Bamboo Journal 編集委員	竹文化振興協会
平成15年度	中田政司	富山県自然環境指針見直し業務調査委員	富山県自然保護課
平成15年5月 ～17年3月	中田政司	環境省植物レッドリスト見直し調査員	環境省自然環境局
平成15年度	中田政司	植物地理・分類学会評議員・編集委員	植物地理・分類学会
平成13.6.20 ～事業終了まで	中田政司	富山市科学文化センター展示委員会委員	富山市教育委員会
平成15年度	山下寿之	富山県自然環境指針見直し業務調査委員	富山県自然保護課
平成15年度	山下寿之	植物版レッドリスト見直し業務富山県調査員	環境省
平成15年度	神戸敏成	絶滅危惧植物対策委員会	(社)日本植物園協会
平成15年度	兼本 正	植物地理・分類学会監査委員	植物地理・分類学会
平成15年度	大原隆明	富山県自然環境指針見直し業務調査委員	富山県自然保護課
平成15年5月 ～17年3月	大原隆明	環境省植物レッドリスト見直し調査員	環境省自然環境局

## 8. 平成15年度研修生等の受入

### (1) 平成15年度博物館実習生

氏名	所属	期間
實吉智香子	富山大学理学部生物学科	平成15.7.28～8.8
後藤英子	富山大学理学部地球科学科	平成15.7.28～8.8
本澤里夏	北里大学水産学部	平成15.7.28～8.8
長沢江里子	近畿大学農学部	平成15.8.18～29
荻原 愛	近畿大学農学部	平成15.8.18～29
山下香織	奈良女子大学理学部	平成15.8.18～29

### (2) 平成15年度 13年次教員研修会受講者 (平成15.8.25～27)

氏名	所属
講神千代	富山北部高校
太田好美	塚原小学校
馬瀬節子	呉羽高校
京角淑美	歌の森小学校
中村祥子	福岡高校
山口恵利華	東小学校
大森祐子	五箇庄小学校
田上 潔	平小学校
船崎美樹	熊野小学校
島田英明	庄川中学校
小森明美	大沢野小学校

### (3) 平成15年度「社会に学ぶ14才の挑戦」受入

期間	氏名	学校名
15.7.7～11	寺岡 亮	富山市西部中学校
15.7.7～11	納村正範	富山市西部中学校
15.7.7～11	浦田果林	婦中町立城山中学校
15.7.7～11	宮田愛美	婦中町立城山中学校
15.9.29～10.3	岩垣政輝	婦中町立速星中学校
15.9.29～10.3	安住新吾	婦中町立速星中学校
15.9.29～10.3	大浦一輝	婦中町立速星中学校

9. 平成15年度視察研修等受入

年月日	視察研修者	内容	人数
15.4.4	(財)日本住宅・木材センター	施設見学	1
15.4.9	富山県富山農地林務事務所	施設見学	3
15.4.9	富山県中央植物園友の会理事	視察見学	2
15.4.15	チューリップ四季彩館	視察研修	40
15.4.26	城西大学薬学部	視察見学	3
15.4.26	富山大学理学部生物学科	視察研修	51
15.5.4	蘭ミュージアム高森	視察見学	2
15.5.9	花と緑の銀行小杉支店	視察研修	36
15.5.19	北陸電力(株)	施設見学	1
15.6.9	職員研修所	施設見学	3
15.6.11	農林水産常任委員会	施設見学	12
15.6.16	北陸電力株式会社桜橋会小杉班	園内視察	20
15.6.20	富山市西部中学校	施設見学	1
15.6.25	富山県博物館協会	施設見学	13
15.6.25	富山国際職藝学院	視察研修	89
15.7.18	花と緑の銀行	施設見学	139
15.7.18	社団法人婦中町シルバー人材センター	視察見学	30
15.7.29	会計検査院	施設見学	15
15.8.14	高岡古城公園管理事務所	視察見学	3
15.8.18	財団法人 公園緑地管理財団武蔵管理センター	施設運営管理、植物維持管理	1
15.8.22	高岡市緑化対策課	視察見学	20
15.8.22	花と緑の銀行高岡支店	施設見学	14
15.8.28	富山県井口村	施設運営管理、植物維持管理	4
15.8.31	富山県経営企画部広報課	施設見学	40
15.9.2	農林水産部	施設見学	1
15.9.5	新潟大学農学部	施設見学	3
15.9.5	新潟市農業水産課	施設見学	2
15.9.8	包括外部監査人	施設見学	3
15.9.13	富山県地方労働委員会	行政視察	10
15.9.20	富山市文化国際課	行政視察	5
15.9.24	富山県総合教育センター	施設見学	1
15.10.1	新潟市園芸センター	施設運営管理、植物維持管理	2
15.10.6	富山県人事課	行政視察	2
15.10.10	富山県秘書課	施設見学	5
15.10.26	三方町縄文博物館	施設見学	16
15.11.10	富山産業展示館	施設見学	2
15.11.18	花と緑の銀行	施設見学	10
15.11.26	中国雲南省友好協会	施設見学	6
15.11.28	中国大連港友好代表团	視察見学	6
15.12.1	富山国際職藝学院	視察見学	19
15.12.1	富山県人事課	行政視察	2
16.1.30	新潟市都市開発課	視察研修	2
16.2.12	富山市藤ノ木中学校1年生	職場見学	3
16.2.19	徳島県農業大学校	トウツバキの管理調査	2
16.2.26	東京大学附属植物園	施設運営管理、植物維持管理	1
16.3.16	環境省新宿御苑管理事務所	施設見学	1
16.3.19	花と緑の銀行市町村支店	施設見学	4
16.3.26	チューリップ四季彩館	施設見学	1



10. 平成15年度行政バス

(1) 県政バス

年月日	内 容	人数
5.12	森林政策課・花の名所めぐり	37
5.20	都市計画課・街の緑里の緑	22
5.30	広報課・Aコース	43
5.30	森林政策課・花の名所めぐり	40
6.4	森林政策課・花の名所めぐり	43
6.17	森林政策課・花の名所めぐり	42
6.23	森林政策課・花の名所めぐり	36
6.27	森林政策課・花の名所めぐり	42

6.30	森林政策課・とやま植物園めぐり	34
9.3	広報課・Aコース	39
9.24	広報課・Cコース	27
10.10	森林政策課・花の名所めぐり	72
10.20	都市計画課・街の緑里の緑	41
11.5	森林政策課・花の名所めぐり	85
11.7	森林政策課・花の名所めぐり	89
合計		のべ15回 18台 692名

(2) 富山市民バス

年月日	内 容	人数
15.10.3	八人町校区	33
15.10.24	光陽	38
合計		2回 2台 71名



## II 植物管理事業

### 1. 収集植物現況（平成15年10月1日現在）

区 画	代表的な植物	種類数	個体数
<b>展示温室</b>		1,213	6,100
熱帯雨林植物室	ビヨウタコノキ、ヘゴ、キョチク	450	1,500
ラン温室	カトレヤ、デンドロビウム、バンダ	238	2,200
熱帯果樹室	バナナ、パパイヤ、パイナップル	310	1,300
高山植物室	コマクサ、クロユリ、プリムラ類	130	900
雲南温室	トウツバキ、カンレンボク	85	200
<b>屋外展示園</b>		2,026	58,000
<b>世界の植物ゾーン</b>		1,150	38,300
ツツジ・シャクナゲ園	レンゲツツジ、西洋シャクナゲ	108	5,100
ボタン・シャクヤク園	中国ボタン、西洋シャクヤク	141	1,900
香りの植物	キンモクセイ、ラベンダー、バラ	88	1,000
繊維の植物	ワタ、コウゾ、ミツマタ	55	2,300
染めの植物	ベニバナ、アイ、コガネバナ	32	2,400
芝生広場	アメリカハナノキ、サルスベリ	38	2,400
サクラ・ウメ園	サクラ類、ウメ、モモ、カリン	112	2,700
花のプロムナード	ソメイヨシノ、サトザクラ	35	1,600
クレマチス園	テッセン、クレマチス類	189	300
球根植物	原種チューリップ、ヒガンバナ	39	13,300
雲南の植物	ハンカチノキ、シナユリノキ	114	600
北米の植物	ユリノキ、カシワバアジサイ	78	1,900
温室周辺	ワシントンヤシモドキ、ヤタイヤシ	70	2,000
話題の植物	ニガウリ、ウォーキングスティック	51	800
<b>日本の植物ゾーン</b>		876	19,700
シイ・カシの森	ヤブツバキ、スタジイ、タブノキ	211	900
クリ・コナラの森	クリ、クヌギ、コナラ、ガマズミ	198	2,000
ミズナラ・ブナの森	ブナ、ミズナラ、ユキツバキ	231	4,500
沼沢・溪谷の植物	ツリフネソウ、クリンソウ	85	1,300
低地草原	オミナエシ、キキョウ	35	3,000
山地草原	ゼンテイカ、マツムシソウ	28	2,500
湿地の植物	ミズアオイ、アサザ、コウホネ	24	2,500
ロッケリー	フジアザミ、エッチュウミセバヤ	21	500
河原の植物	アキグミ、カワラケツメイ	8	1,000
海岸の植物	クロマツ、ハマナス、イソギク	35	1,500
<b>管理区域</b>		2,616	28,000
栽培温室、栽培圃場	雲南の植物、琉球列島の植物、系統保存	2,500	10,000
駐車場、入口広場他	チヨウキンレン、ベニバナトチノキ	116	18,000
<b>園全体（種類数は各エリア間での重複を除いた数）</b>		4,200	92,100

## 2. 平成15年度新規導入植物

### (1) 個人、機関からの寄贈

年月日	寄贈者	導入植物
15.4.3	長井真隆	ベニガクエゴノキ 1種 4株
4.3	越野淳一	クレマチス 7種 7株
4.10	越野淳一	クレマチス 10種 10株
4.17	越野淳一	クレマチス 8種 8株
5.1	長井真隆	ナベナ 1種 30株
5.4	柳原正紀	キンセイラン 1種 1株
5.2	越野淳一	クレマチス 4種 4株
5.9	越野淳一	クレマチス 2種 2株
9.18	越野淳一	クレマチス 9種 9株
10.6	越野淳一	クレマチス 7種 7株
10.9	越野淳一	クレマチス 7種 7株
10.16	越野淳一	クレマチス 2種 2株
16.3.16	越野淳一	クレマチス 10種 10株
3.25	越野淳一	クレマチス 6種 6株

### (2) 植物園協会種苗交換による導入

年月日	植物園	導入植物
16.2.19	内藤記念くすり博物館付属薬用植物園	ヘビウリ (種子)
3.2	高知県立牧野植物園	ヨコグラノキ、ハマナツメ (種子)
3.18	日本新薬(株)山科植物資料館	カジノキ、 <i>Cunonia capensis</i> L. 他3種 (苗)
3.19	京都府立植物園	<i>Cirita speciosa</i> (苗)
4.1	広島市植物公園	<i>Amorphophallus henryi</i> (苗)

### (3) 種子交換による導入

年月日	植物園	導入植物
15.1.27	ベルリンーフンボルト大学植物園 (ドイツ)	<i>Adiantum trapeziforme</i> L. 他 7種
2.25	ゲーテ大学植物園 (ドイツ)	<i>Amaranthus caudatus</i> L. 他 19種
2.25	高知県立牧野植物園 (日本)	<i>Aristolochia elegans</i> Mast. 他 10種
2.25	国立樹木園 (フランス)	<i>Rosa pendulina</i> L. 他 2種
3.3	ヌシャテル大学植物園 (スイス)	<i>Thymus pulegioides</i> L. 他 3種
3.11	ベルベデーレ高山植物園 (オーストリア)	<i>Myosotis arvensis</i> 他 26種
3.11	プザンソン大学植物園 (フランス)	<i>Athamanta cretensis</i> L. 他 7種
3.18	コメンスキー大学植物園 (スロバキア)	<i>Dryas octopetala</i> L. 他 11種
4.8	ハンガリー科学アカデミー生態 ・植物学研究所植物園 (ハンガリー)	<i>Campanula glomerata</i> L. 他 24種
4.24	ターリン植物園 (エストニア)	<i>Lonicera alpigena</i> L. 他 16種
5.14	リヨン植物園 (フランス)	<i>Begonia carrieae</i> Ziesenh. 他 18種
6.2	中央シベリア植物園 (ロシア)	<i>Artemisia absinthium</i> L. 他 6種
6.3	ラトビア大学植物園 (ラトビア)	<i>Abies veitchii</i> Lindl. 他 6種
8.18	コペンハーゲン大学植物園 (デンマーク)	<i>Trifolium alpestre</i> L. 他 17種

### (4) 自生地採集による導入

年月日	採集地	導入植物
15.7.10	富山県下新川郡朝日町	ナツエビネ、ヒトツバカエデ (苗) 他6種
9.17	富山県中新川郡上市町	サルメンエビネ、ユキザサ (苗) 他7種

## (4) 購入植物

年月日	購入先	購入植物
15. 4. 2	大井仙樹園	プリムラ・ヴィアリー 他18種 40株
5.5	北山ナーセリー	メキシコキッコウリュウ 1株
5.27	大井仙樹園	アジアタム 他6種 8株
6.5	エクゾティックプランツ	カラテア 他26種 55株
6.10	フルールふるる	クサントロエア 2株
6.25	大井仙樹園	ヘゴ 4株
7.13	大井仙樹園	ベゴニア 1株
9.10	アルム	ソルダネラ 他24種 82株
10.29	フルールふるる	フタゴヤシ 1株
11.21	アルペンガーデンやまくさ	グンナイフウロ 他23種 130株
11.30	大井仙樹園	フクジュソウ 200芽
12.29	大井仙樹園	ハコネツリガネツツジ 他6種 13株
16. 1.28	大井仙樹園	オオヤマレンゲ 他6種 16株
2.10	北陸洋蘭園	リカステ 他5種 5株

## 3. 平成15年度分譲植物（植物体の部分を含む）

## (1) 個人、機関への分譲

年月日	分譲先	分譲植物	数量	使用目的
15.4.13	林 節男	ヒノキ	若干	研究用
6.28	須河隆夫	ヨーロッパアカマツ他マツ属数種	若干	教材

## (2) 植物園協会種苗交換による分譲

年月日	分譲先	分譲植物
16.2.18	広島大学医学部付属薬用植物園	チドリノキ、メグスリノキ（苗）
2.18	金沢大学薬学部付属薬用植物園	メグスリノキ（苗）
16.2.23	（助）熱帯・亜熱帯都市緑化植物園	メグスリノキ（苗）
3.10	摂南大学薬学部薬用植物園	メグスリノキ、パンノキ（苗）

## (3) 種子交換による分譲（平成15年度カタログ）

年月日	配付先	配付種子
16.2.23	リヨン植物園（フランス）	クマシデ 他11種
2.23	ラトビア国立樹木園（ラトビア）	ハシバミ 他3種
2.23	ブザンソン大学植物園（フランス）	ナナメノキ 他10種
2.23	I.B.G. Saint Nicolas de la Grave（フランス）	ツノハシバミ 他13種
2.23	ターリン植物園（エストニア）	ヒオウギアヤメ 他4種
2.23	コメンスキー大学植物園（スロバキア）	ルイヨウボタン 他11種
8.10	ハンガリー科学アカデミー生態 ・植物学研究所植物園（ハンガリー）	サルナシ 他7種
8.10	ロシア科学アカデミー極東支部植物園（ロシア）	トウカエデ 他7種
8.10	ベルリンーフンボルト大学植物園（ドイツ）	ナナメノキ 他1種
8.10	ベルベデーレ高山植物園（オーストリア）	トモエソウ 他1種
8.10	ラトビア国立樹木園（ラトビア）	ヒメアオキ 他2種
8.10	ロシア科学アカデミーヤクーツク支部植物園（ロシア）	ウリハダカエデ 他5種
8.10	ボゴール植物園（インドネシア）	キササゲ 他3種
8.10	アルタイ州立大学南東植物園（ロシア）	ミズキ 他5種

### Ⅲ 教育普及事業

#### 1. 平成15年度催事記録

##### (1) 特別開園

催事名称	開催日	開催時間	開催場所	入園者数
「ソメイヨシノと夜桜観賞」*	4/10(木), 11(金)	18:00~21:00	屋外展示園	17,235
置県120周年記念無料開園*	5/9(金)~11(日)	9:00~17:00	植物園全域	4,348
夜間開園「夜の温室植物」	8/15(金), 16(土)	19:00~21:30	展示温室	1,052
開園10周年記念事業*	10/12(日)	9:00~17:00	植物園全域	2,406
花と緑のフェスティバル サテライト会場「ラン展」*	2/6(金)~8(日)	9:00~17:00	サンライトホール	1,680

\*は無料開園

##### (2) 企画展示

開催場所：サンライトホール、開催時間：9:00~17:00（11月~1月は16:30まで）

催事名称	開催日	内容
特別展「野生ラン展」	5/3(土)~5/5(月)	富山県蘭協会と共催で、ランの野生種と園芸品種を展示。
「さつき展」	6/6(金)~6/8(日)	寿さつき会主催で行ったサツキの展示。
企画展「私の植物写真展」	6/27(金)~7/23(水)	植物園の講習会で撮影した植物の写真、および一般から募集した植物写真を展示。
特別展「植物と紋章展」	7/25(金)~8/20(水)	植物をデザインした紋章の紹介と故里見信生氏の集められた校章を併せて展示。
「開園10周年のあゆみ ・ポスター展」	10/10(金)~11/12(水)	開園から10周年を迎えた植物園のこれまでのイベントをポスターで展示。
企画展「干支にちなんだ植物」	12/12(金)~1/14(水)	干支に関係のある植物を実物とパネルで紹介。
花と緑のフェスティバル サテライト会場「ラン展」	2/6(金)~8(日)	花と緑のフェスティバルのサテライト会場としてラン展を開催。
「平成15年度研究発表展示」	2/13(金)~2/25(水)	植物園で実施した研究活動をパネルや写真で紹介。
企画展「私の植物画展」	2/27(金)~3/31(水)	一般から募集した植物画（ボタニカルアート）の作品を展示。

##### (3) 月例行事

###### ● 植物園オリエンテーリング（7回）

親子で植物の問題に取り組みながら園内を散策（開催時間：10:30~12:30）

開催日：毎月第3日曜日

参加者数 約119名

（これ以外に16団体がオリエンテーリングを実施し、1,469名が参加した）

###### ● 日曜植物案内（12回）

園内の植物をテーマに沿って植物園の職員とボランティアが解説（開催時間：11:00~12:00）

開催日：毎月第1日曜日

参加者数 約200名

## (4) 講座・講習・講演会

催事名称	講師等	開催日	開催場所	参加者数
講演会 シンビジウムとその仲間	青山幹男 (高森町蘭植物園副園長)	5/4(日)	研修室	55
県民カレッジ連携講座 第20回植物画講習会	豊田路子・岡田宗男 (フェアリーリングの会)	5/10(土) ～11(日)	研修室	57
植物写真教室 やさしい花の撮り方	前佛 勇ほか (富山県写真家協会)	6/1(日)	研修室 園内	58
親子植物観察記録会 デジカメで花を撮ろう	富山県情報工房職員	7/27(日)	研修室	54
小学生植物ふしぎ教室	職員	7/28(月) ～30(水)	実習室	19
第11回TOYAMA植物フォーラム よみがえる幻の 園芸植物センノウ	村田 源 (元京都大学講師) 芳沢勝弘 (花園大学教授) 神戸敏成 (富山県中央植物園主任研究員)	8/3(日)	高志会館	73
化石公開記念講演会 恐竜はどんな植物を見ていたか	寺田和雄 (福井県立恐竜博物館研究員)	8/24(日)	研修室	50
植物学講座 花粉学入門	佐橋紀男 (東邦大学薬学部教授)	9/7(日)	実習室	16
県民カレッジ連携講座 第21回植物画講習	豊田路子・岡田宗男 (フェアリーリングの会)	9/20(土) ～21(日)	研修室	50
開園10周年記念講演会	佐野藤右衛門 (植藤造園第一六代目・桜守)	10/12(日)	サンライト ホール	約120
どんぐりで遊ぼう	職員	11/9(日)	研修室 ・園内	42
電子顕微鏡で植物を観察しよう	職員	1/18(日)	実習室	7
植物観察記録会 デジカメで花を撮ろう	富山県情報工房職員	2/1(日)	研修室	46
平成15年度研究発表 日中共同研究報告	職員	2/22(日)	研修室	33

## 2. 平成15年度印刷・出版

## (2)「植物園だより」の発行

## ●2003年4・5・6月号 (27号)

表紙-キクザキイチゲ(扇谷昭進氏撮影) / 特集-ドリアスホールが完成しました / 活動報告-写真展 植物の造形美、私の植物画展、平成14年度研究活動展 植物園を支える研究活動(7) / 話題の植物-リュウキユウベンケイ、なんじゃもんじゃの木/研究紹介-中国産ベゴニアの染色体(副主任研究員・企画情報課長 中田政司) / 中国雲南省の植物と文化-その4 高山植物の宝庫 香格里拉(上)(主任研究員 神戸敏成) / これからが見ごろの植物-カンパヌラ・フラギリス、クレマチス、ホオノキ / イベント案内

## ●2003年7・8・9月号 (28号)

表紙-ミズバショウ(中尾靖嗣氏撮影) / 特集-夏のイベントから 特別展「植物と紋章展」、第11回 TOYAMA植物フォーラム「よみがえる幻の園芸植物センノウ」、化石公開記念講演会「恐竜はどんな植物を見ていたか」 / 活動報告-無料開園 ソメイヨシノと夜桜観賞、特別展 野生ラン展、昆明植物研究所との共同研究、スタンプラリーを開催しています / 話題の植物-マンゴーが実る、キスゲの仲間/研究紹介-顕微鏡で覗くこの世界(主任 橋屋 誠) / 中国雲南省の植物と文化-その5 高山植物の宝庫 香格里拉(下)(主任研究員 神戸敏成) / これからが見ごろの植物-オオハマボウ、熱帯スイレン / 中央植物園前にバス停が新設 / イベント案内

## ●2003年10・11・12月号 (29号)

表紙-ホオズキ(田中義昭氏撮影)/特集-開園10周年を迎えた富山県中央植物園/活動報告-第11回TOYAMA植物フォーラム「よみがえる幻の園芸植物センノウ」/話題の植物ベニヒモノキ、ジュウガツザクラ/研究紹介-立山室堂平の植物相(主任 吉田めぐみ)/日本植物研究の歴史-その1 学名と植物研究の歴史(主任 兼本 正)/これからが見ごろの植物-ブルー・ジンジャー、シクラメン・ヘデリフォリウム、ポインセチア/イベント案内

●2004年1・2・3月号(30号)

表紙-パフィオペディルム(草野 亮氏撮影)/特集-ランの花のひみつ/活動報告-富山県中央植物園開園10周年記念式典/話題の植物-フタゴヤシ、フクジュソウ/研究紹介-電子顕微鏡で観察したササ類の葉(主任 高橋一臣)/日本植物研究の歴史-その2 植物分類学の父 リンネ(主任 橋屋 誠)/これからが見ごろの植物-トウツバキ、シナマンサク、ウメ/イベント案内

(2)「富山県中央植物園研究報告」第9号の発行(調査研究事業に掲載)

(3)「事業概要」第5号(平成14年度)特別編集富山県中央植物園10年のあゆみ の発行(A4判・24頁、平成15年10月1日)

(4)「富山県中央植物園散策ガイド ドリアスマップ」の発行(A3判6ツ折りリーフレット)

3. 平成15年度新聞・雑誌等への寄稿

年月	掲載誌	タイトル	執筆者
15.4	農耕と園芸	「新花卉探索」ハナミョウガ属の一種	神戸敏成
15.5	Bamboo Voice	ギニア共和国と竹	内村悦三
15.6	農耕と園芸	「新花卉探索」グラジオラス属の一種	神戸敏成
15.8	農耕と園芸	「新花卉探索」ソリア・ヘテロフィラ	神戸敏成
15.8	日本経済新聞	文化「センノウ赤い花 満開再び」	神戸敏成
15.10	農耕と園芸	「新花卉探索」ナンバンアカバナアズキ	神戸敏成
15.12	Art Park / BGP	ミュージアム・レポート 教育施設としての植物園	中田政司
15.12	農耕と園芸	「新花卉探索」コベニリンドウ	神戸敏成
15.12	Bamboo Voice	フィリピンとインドネシアの代表的な竹楽器	内村悦三
16.1	プランタ	竹という植物の価値	内村悦三

4. 平成15年度新聞記事

年 月	内容	件数
平成15.4	グネツム咲いた、ドリアスホール完成、桜・夜桜観賞、他	24
5	中国のボタン見ごろ、野生ラン展、クレマチス開花、他	11
6	寿サツキ会花季大展示会、クチナシ見ごろ、他	9
7	マンゴー実る、幻の花センノウ開花、他	10
8	夜に咲き香る花々、巨大化石見に来て、他	18
9	植物学講座「花粉学入門」、カカオの実、他	5
10	世界の5700種育て10周年、植物園で人前結婚式、他	13
11	古典菊咲く、初の植物目録を作成、他	12
12	干支にちなんだ植物展、コンニャクの花咲く、他	15
平成16.1	寒ボタン開花、登録標本1万点に、他	19
2	女王の涙開花、増える外来種、他	19
3	トウツバキ開花、植物画展、ヤマザクラの記念植樹、他	22

5. 平成15年度取材対応

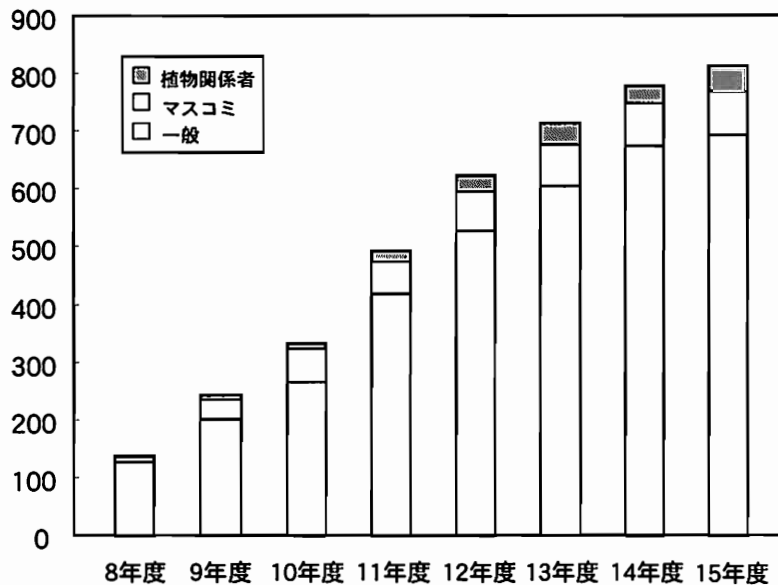
- (1)新聞 49件
- (2)テレビ 56件(番組出演 46回)
- (3)ラジオ 14件
- (4)雑誌等 3件

6. 平成15年度リファレンス（質問対応）状況

	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
総数	140	243	334	493	624	715	780	815
質問方法別								
来園	65	84	118	179	258	268	301	376
電話	73	153	206	301	341	410	432	381
文書	2	6	9	13	25	37	47	58
質問内容別								
同定 (キノコ)*	73 (50)	79 (58)	129 (73)	181 (110)	275 (184)	330 (196)	320 (190)	379 (266)
園芸相談	25	73	103	159	178	208	217	186
その他	42	91	102	153	171	177	243	250
質問者業種別								
一般	127	202	266	420	528	606	676	693
マスコミ	11	35	59	55	67	72	74	77
植物関係者	2	6	9	18	29	37	30	45

\*は同定依頼に来たものの内、キノコ関係の内訳。

[件数]



平成15年度リファレンスの年度別推移（質問者業種別）



## IV 資料収集事業

### 1. 標本資料現況 (点数)

	平成3～14年度	平成15年度	点数	合計点数
購入標本	3,000		0	3,000
収集標本	24,030	職員採集県内産標本 植物園友の会植物誌部会 調査会収集標本 その他	1,600  800 200	26,630
寄贈標本	8,687	古瀬延子 (タヌキノシヨクダイほか) 岩坪美兼 (エゾノウワミズザクラほか) 早川崇 (カワヂシャほか) 久保宏子 (オクシモハギほか) 酒井初江 (ミズネコノオほか) 高橋政則 (ノカンゾウほか) 木内静子 (ケンボナシほか) 粟島紀子 (ウラジロほか) 武田宏 (オクチョウジザクラほか) 若杉孝生 (キンキマメザクラほか) 荒川知代 (イヌスギナほか) 長井真隆 (クサボケほか) 山崎博子 (サトザクラ'の園芸品種) 山本清美 (ホソバノツルリンドウほか) 池川喜代治 (タチアザミほか) 上野達也 (シュウカイドウ) 太田道人 (ハンカチノキ) 高木末吉 (ムラサキナギナタガヤ) 高橋俊介 (ヤマザクラ) 津田登 (ヤマトミクリ) 鳴橋直弘 (コシノヒガンザクラ) 西渕頼子 (セイバンモロコシ)	2,001 419 50 41 14 10 7 6 6 6 4 4 3 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1	11,269
合計		35,717	5,182	40,899

### 2. 文献資料現況 (冊数)

#### (1) 単行本

		平成3～14年度	15年度	合計 (冊数)
購入	洋書	925	2	927
	中国書	342	12	354
	和書	844	25	869
交換寄贈	洋書	102	1,160	1,262
	中国書	37	260	297
	和書	1,935	1,913	3,848
合計		4,185	3,372	7,557

#### (2) 雑誌

		平成3～14年度	15年度	合計 (冊数)
購入	洋書	3,003	297	3,300
	中国書	673	40	713
	和書	2,462	181	2,643
交換寄贈	洋書	802	335	1,137
	中国書	110	20	130
	和書	1,422	978	2,400
合計		8,472	1,851	10,323

## V 調査研究事業

### 1. 研究体制（平成15年9月1日現在）

氏名	職	担当分野・専門分野
内村 悦三	園長	森林生態学、世界のタケ類の生態と栽培、熱帯林の修復、アグロフォレストリー・システムの構築
黒川 道	顧問	植物分類学、地衣類
中田 政司	副主幹研究員 (企画情報課長)	植物細胞分類学、植物細胞遺伝学、染色体、キク属
大宮 徹	主任研究員	植物分類学、植物形態学、植物解剖学、マメ科
山下 寿之	主任研究員	植物生態学、植物社会学、常緑広葉樹林、種子生態
神戸 敏成	主任研究員	植物育種学、植物組織培養、花き植物、絶滅危惧植物
橋屋 誠	主任	植物分類学、菌類（キノコ）、地域フロラ
吉田めぐみ	主任	植物生態学、種生物学、高山植物
兼本 正	主任	植物細胞分類学、琉球列島フロラ、イラクサ科
高橋 一臣	主任	植物分類学、酵素多型、タケ科
大原 隆明	技師	植物分類学、地域フロラ、サクラ属
志内 利明	技師	植物分類学、トカラ列島フロラ、溪流沿い植物

### 2. 研究課題

- (1) 富山県の植物相と植生に関する調査
- (2) 富山県内の絶滅危惧植物の実態調査、増殖に関する研究
- (3) 導入植物の同定と利用に関する研究

### 3. 富山県中央植物園研究報告第9号の発行（平成16年3月30日）

山下寿之：氷見市朝日社叢における主要高木性樹種の実生・稚幼樹の齢・サイズ構造(1-7).

Toshinari Godo, Takayoshi Oku & Masahiro Mii: Micropropagation and characterization of the regenerated plants of triploid *Lychnis senno* Siebold et Zucc., a valuable and rare ornamental plant. (3倍体センノウの微細繁殖及び繁殖個体の特徴) (9-17).

兼本 正・兼本正人：沖縄島に導入されたハンノキの現状. (19-22)

吉田めぐみ・吉田 稔：立山室堂平におけるライチョウの営巣地の植生. (23-34)

吉田めぐみ：ライチョウの生息環境としての立山室堂平「双子山」の植生. (35-47)

大原隆明・高木末吉・山本清美：富山県フロラ資料(8). (49-63)

橋屋 誠：富山県高等菌類資料(2). (65-71)

Syo Kurokawa: Correct citation of the two Japanese species of *Pilophorus*. (日本産カムリゴケ属地衣2種の著者名). (73)

Masashi Nakata: Chromosome number of *Gastrodia pubilabiata* (Orchidaceae). (クロヤツシロランの染色体数). (74)

大宮 徹・魯 元学・菅 開雲：中国雲南省昆明市近郊に自生するナツフジ属植物について. (75-76)

### 4. 平成15年度研究発表「植物園を支える研究活動(8)」(発表順) 平成16年2月22日

- ・ 大原隆明：富山県で新たに生育が確認された植物 (7)
- ・ 橋屋 誠：富山県で記録されたきのこ (8)
- ・ 吉田めぐみ：ライチョウの棲息環境としての立山室堂平(双子山)の植生
- ・ 山下寿之：氷見市朝日社叢における主要高木性樹種の個体群構造
- ・ 志内利明：コシキギクの実体は？
- ・ 高橋一臣：ササ類の葉の表皮構造 — スズタケ属

- ・ 中田政司：ノリ面緑化による外来キク属の侵入とその影響
- ・ 兼本 正：沖縄島における台湾ハンノキの現状
- ・ 神戸敏成：古典園芸植物センノウの復活をめざして
- ・ 大宮 徹：雲南省のマメ科ナツフジ属植物 (1)

5. 著書・論文・学会発表等 (平成15年度. 富山県中央植物園研究報告第9号掲載分を除く)

黒川 道

- ・ Checklist of Japanese *Lichens*. (共著).

内村悦三

- ・ 竹の魅力と活用. 内村悦三 (編). pp. 217. 創森社. (2004).

中田政司

- ・ イワギク、チョウセンノギク、ワカサハマギク、ナカガワノギク、ミコシギク. レッドデータプランツ. 山と溪谷社. (2003). (分担執筆)
- ・ ノリ面緑化現場における外来シマカンギクと在来ノジギクとの自然交雑事例. 保全生態学研究 8: 169-174. (2003). (共著)
- ・ 中国産シウカイドウ属の細胞学的研究 II. Sect. *Platycentrum* 数種の染色体数. 日本園芸学会秋季大会. (2003). (共同発表)
- ・ 中国産シウカイドウ属の細胞学的研究 III. *Begonia rubropunctata* と *B. purpureofolia* の分類学的取扱. 日本植物分類学会第3回大会. (2004). (共同発表)

山下寿之

- ・ 富山県絶滅危惧種・ヒメザゼンソウの新産地. 植物地理・分類研究 51:189-192. (和田直也と共著). (2003).
- ・ ルーツは中国雲南地区—照葉樹の森—. 「とやま面白学富山の自然再発見」 pp.18-19. 北日本新聞社. (分担執筆). (2004).
- ・ Ecological distribution of evergreen oaks in Kyushu, Southwestern Japan. OAK2003, Japan (Joint Meeting of IUFRO Working Groups, Genetics of *Quercus* & Improvement and Silviculture of Oaks). (2003). (共同発表).

神戸敏成

- ・ 3倍体センノウの増殖及び増殖個体の特性. 日本育種学会第103回講演会. (2003).

橋屋 誠

- ・ 日本の毒きのこ. pp. 280. 学習研究社. (2003). (分担執筆)

兼本 正

- ・ Chromosome Numbers of Japanese *Pellionia* (Urticaceae). J. Jpn. Bot. 75: 262-268. (2003). (共著).
- ・ Cytogeographical studies of *Pellionia minima*, *P. radicans* and *P. scabra* (Urticaceae). J. Phytogeogr. Taxon. 51 (2): 123-129. 2003.

大原隆明

- ・ 跡見学園女子大学におけるサクラの同定調査. 跡見学園女子大学文学部紀要.37: 75-88. (2003).
- ・ 跡見学園女子大学のサクラ 構内サクラガイド. 跡見学園女子大学. (共同執筆). (2003).

志内利明

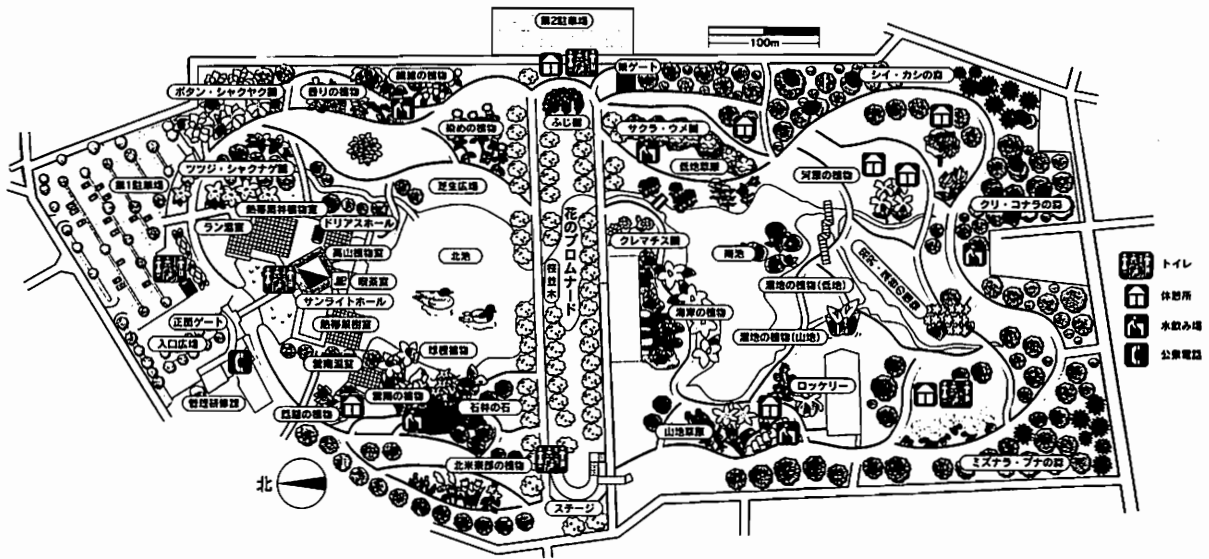
- ・ 植物園オリエンテーリングの実施と課題. (社)日本植物園協会第10回研究発表会. (2003).
- ・ 植物園オリエンテーリングの実施と課題. 日本植物園協会誌 38: 104-107. (2004).

## VI 参考資料

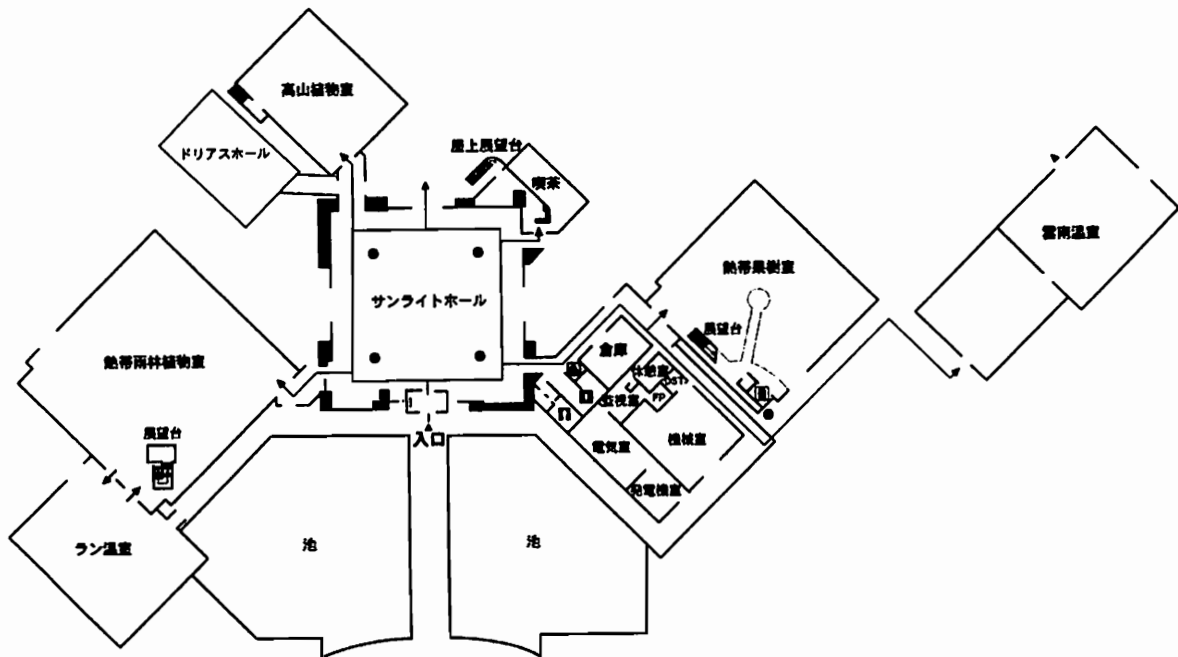
### 1. 施設概要（着工順）

施設	着工～完成	面積(m <sup>2</sup> )	概要
屋外展示園	2.12～5.8	展示区域 16 (ha) 池 3 (ha)	世界の植物ゾーン、日本の植物ゾーン、花のプロムナード。観察用園路5,400m。
管理研修棟	4.8～6.3	1,139	園長室、植物園管理室、(財)花と緑の銀行事務室、専務理事室、研修室、実習室、文献室、標本室、図書閲覧室、研究室、培養室、映像処理室、車庫、機械室他。
作業エネルギー棟	4.8～5.1	171	ボイラー室、作業庫、休憩室他
栽培温室（5棟）	第1期 4.8～5.1 第2期 5.8～6.1	熱帯温室 302 温帯温室 113 暖温帯温室 302 冷室 151 雲南温室 208	
第一駐車場	4.8～5.1	11,600	380台収容
第二駐車場	8.2～8.4	3,444	150台収容
屋外便益施設	4.8～6.1	のべ393	5棟
サンライトホール	5.8～6.8	1,046	企画展示スペース、休憩用ベンチ、映像情報システム
エネルギー棟	5.8～6.8	568	展示温室用灯油ボイラー、変電設備、自家発電機、中央監視室他
展示温室（5棟）	第1期 5.8～7.1 第2期 6.7～7.6 第3期 7.3～8.3 第4期 10.10～12.3	ラン温室 400 熱帯雨林植物室890 熱帯果樹室 587 高山植物室 300 雲南温室 (温) 313 (温冷) 223	
正面ゲート	7.3～7.9	171	
雲南コーナー	7.9～8.3	1,500	石林の石 500t、中国雲南省産の植物
外構、入口広場	7.9～8.3		
東ゲート	7.12～8.3	27	
ドリアスホール	14.9～3.14	155	休憩室、図書閲覧

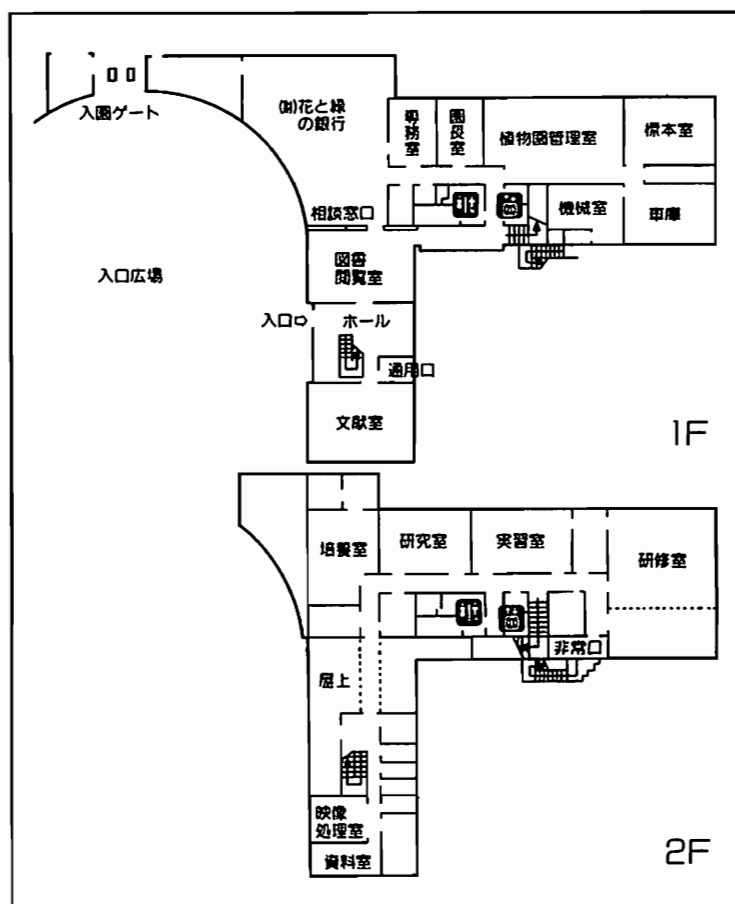
## 2. 施設平面図



植物園平面図



サンライトホール・温室平面図



管理研修棟平面図

3. 整備事業費

単位：百万円

区分	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	小計	H10-11	H14	小計	合計
設計監理	26	88	52	21	90	11	9	297				297
造園工事		716	508	732		91	45	2,092				2,092
植栽工事		34	40	301	40	89	162	666				666
建築工事				863	1,034	1,120	811	3,828	*204	**40	244	4,072
備品			2	92	13		74	181				181
用地取得		977	959	32			74	2,039				2,039
雲南植物					10	3	10	23				23
石林の石						11	105	116				116
合計	26	1,815	1,561	2,041	1,187	1,325	1,287	9,242	204	40	244	9,486

\*雲南温室、\*\*多目的小ホール（ドリアスホール）

#### 4. 利用統計

##### (1) 平成15年度月別入園者数（有料）

区分 (月)	個人		団体		地職組	友の会	特別観覧*				合計	
	大人	小人	大人	小人			個人		団体		大人	小人
							大人	小人	大人	小人		
4	4,771	34	196	1	0	145	0	0	0	0	5,112	35
5	4,345	7	576	0	0	201	0	0	0	0	5,122	7
6	1,861	8	741	0	0	135	0	0	0	0	2,737	8
7	1,224	43	363	79	0	112	0	0	0	0	1,699	122
8	1,671	143	198	49	0	93	847	40	39	0	2,848	232
9	1,261	7	317	0	0	103	0	0	0	0	1,681	7
10	1,379	7	1,017	0	0	107	0	0	0	0	2,503	7
11	1,111	3	618	0	0	96	0	0	0	0	1,825	3
12	497	7	40	0	0	82	0	0	0	0	619	7
1	684	19	0	0	0	141	0	0	0	0	825	19
2	1,404	3	45	0	0	126	0	0	0	0	1,575	3
3	2,199	51	91	0	0	266	0	0	0	0	2,556	51
合計	22,407	332	4,202	129	0	1,607	847	40	39	0	29,102	501

\*夜桜観賞（平成15.4.10～11）、夜の温室植物（平成15.8.15～16）

##### (2) 平成15年度月別入園者数（無料）

区分 (月)	減免					無料合計	
	一般 大学 高校	小学生 中学生	引率	乳幼児	その他	大人	小人
4	15,318	2,199	320	2,187	118	15,756	4,386
5	3,847	1,630	397	1,231	68	4,312	2,861
6	162	756	425	628	227	814	1,384
7	104	390	181	169	281	566	559
8	95	337	149	329	142	386	666
9	92	527	133	228	29	254	755
10	2,161	416	263	1,002	141	2,565	1,418
11	54	354	109	474	57	220	828
12	15	38	39	241	36	90	279
1	40	42	51	265	12	103	307
2	1,541	99	68	415	77	1,686	514
3	109	135	105	445	124	338	580
合計	23,538	6,923	2,240	7,614	1,312	27,090	14,537

##### (3) 平成15年度月別入園者総数

区分 (月)	総計		
	大人	小人	合計
4	20,868	4,421	25,289
5	9,434	2,868	12,302
6	3,551	1,392	4,943
7	2,265	681	2,946
8	3,234	898	4,132
9	1,935	762	2,697
10	5,068	1,425	6,493
11	2,045	831	2,876
12	709	286	995
1	928	326	1,254
2	3,261	517	3,778
3	2,894	631	3,525
合計	56,192	15,038	71,230

##### (4) ホームページ開設後のアクセス件数（ホームページ開設：平成12年9月24日）

年度	アクセス件数
平成13年度	8,520
平成14年度	11,282
平成15年度	15,365

## (5)平成15年度入園料減免対象団体利用状況

団体種別	のべ利用団体数	のべ利用者数
保育園・保育所	59	4,059
幼稚園	5	270
小学校	33	3,030
中学校	7	706
高等学校	3	184
盲・聾・養護学校	4	164
児童クラブ	6	215
小学校PTA	4	347
障害者援護施設・手帳所持	18	460
特別養護老人ホーム・老人保健施設	25	791
その他	7	293
合計	171	10,519

## (6)全面開園（平成8年）後の入園者数

年度	有料入園者		無料入園者		合計		総計
	大人	小人	大人	小人	大人	小人	
8	126,144	11,172	7,307	20,704	133,451	31,876	165,327
9	72,376	5,455	3,414	13,658	75,790	19,113	94,903
10	50,346	3,723	3,282	9,859	53,628	13,582	67,210
11	44,346	2,752	3,503	7,250	47,849	10,002	57,851
12	38,288	2,337	4,835	9,475	43,123	11,812	54,935
13	34,465	2,360	4,703	8,223	39,168	10,583	49,751
14	34,311	794	4,440	9,726	38,751	10,520	49,271
15	29,102	501	27,090	14,537	56,192	15,038	71,230
累計	429,378	29,094	59,046	93,432	488,424	122,526	610,950

## (7)平成15年度研修室等利用団体数（人数）

年度	研修室			実習室 (研修室併用を含む)	ドリアスホール 合計
	第1	第2	第1+第2		
8	31 (1,064)	4 (60)	25 (1,001)	1 (50)	— 61 (2,17)
9	43 (1,336)	7 (138)	12 (445)	4 (483)	— 66 (2,40)
10	21 (630)	4 (51)	29 (967)	3 (20)	— 57 (1,66)
11	20 (602)	6 (88)	27 (970)	8 (210)	— 58 (1,75)
12	26 (739)	5 (80)	7 (319)	5 (76)	— 41 (1,19)
13	23 (620)	11 (143)	12 (630)	5 (114)	— 48 (1,50)
14	10 (179)	4 (43)	7 (337)	1 (9)	— 22 (56)
15	3 (79)	7 (82)	1 (78)	1 (70)	69 (4,1)

※ドリアスホールは平成15年3月に完成.



## 5. 例規（平成15年10月1日現在）

### ● 富山県植物公園条例（抜粋）

公布 平成5年9月30日 富山県条例第54号  
改正 平成8年3月27日 富山県条例第14号  
平成9年3月26日 富山県条例第 3号

#### （目的）

第1条 この条例は、富山が誇る豊かな植生等の自然環境を活用して総合的な植物公園の形成を図ることにより、県民に植物に関する多様な学習と憩いの場を提供し、もって県民の教育及び文化の向上並びに福祉の増進に寄与することを目的とする。

#### （県の責務）

第2条 県は、前条の目的を達成するため、植物公園の中核となる施設として富山県中央植物園を設置し、当該施設と県、市町村が設置する植物に関する展示等を行う施設との連携及びこれらの施設の利用の増進について必要な措置を講ずるものとする。

#### （設置）

第3条 県民に対し植物に関する総合的な知識の普及等を行うとともに、県内の植物に関する展示等を行う施設（以下「植物展示施設」という）と連携を図るため、富山県中央植物園（以下「中央植物園」という。）を設置する。

#### （位置）

第4条 中央植物園は、婦負郡婦中町に置く。

#### （事業）

第5条 中央植物園は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 植物及び植物に関する資料を収集し、保存し、展示すること。
- (2) 植物に関する専門的な調査研究を行うこと。
- (3) 植物に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (4) 中央植物園及び植物展示施設の利用の増進を図るために必要な連絡調整、技術指導、情報の提供等を行うこと。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、中央植物園の設置の目的を達成するために必要な事業。

#### （入園の拒否及び制限）

第6条 知事は、中央植物園に入園しようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入園を拒否することができる。

- (1) 中央植物園の秩序又は風紀を乱すおそれがあるとき。
  - (2) 施設、付属設備、植物又は植物に関する資料（次条第1項において「施設等」という。）を汚損し、又は損傷するおそれがあるとき。
- 2 知事は、中央植物園の管理上必要があると認めるときは、入園を制限することができる。

#### （遵守事項等）

第7条 中央植物園に入園したもの（以下この条において「入園者」という。）は、次に掲げる事項を守らねばならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

- (1) 他の入園者に迷惑となる行為をしないこと。
  - (2) 施設等を汚損し、又は損傷しないこと。
  - (3) 施設等を汚損し、若しくは損傷するおそれのある物品又は動物若しくは植物を持ち込まないこと。
  - (4) その他知事が特に指示した事項
- 2 知事は、入園者が前項の規定に違反したときは、その者に退園を命ずることができる。

#### （専用使用の承認）

第8条 中央植物園の施設のうち別表に掲げるものを専用して使用しようとする者は、あらかじめ、知事の承認を受けなければならない。

- 2 略
- 3 略

#### （使用料）

第9条 中央植物園に入園しようとする者及び前条第1項の承認を受けた者（第13条において「専用使用者」という。）は、それぞれ別表に定める金額の入園料又は専用使用料を納めなければならない。

- 2 中央植物園において特別に展示している植物または植物に関する資料を観覧しようとする者は、

1,000円の範囲内で知事が定める金額の特別展示観覧料を納めなければならない。

(使用料の徴収方法)

第10条 入園料、専用使用料及び特別展示観覧料（以下「使用料」という。）は、知事の発行する納入通知書により徴収する。ただし、これにより難いばあいにおいては、口頭又は掲示の方法により現金で徴収する。

2 使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(使用料の減免)

第11条 知事は、特別の理由があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(使用料の還付)

第12条 既に納入した使用料は、還付しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(専用使用の承認の取消し等)

第13条 略

(管理の委託)

第14条 中央植物園の管理は、財団法人花と緑の銀行に委託する。

(県有の植物展示施設に対する措置等)

第15条 知事は、県有の植物展示施設のうち、その特色にかんがみ中央植物園と有機的かつ一体的に機能させ、及び利用の増進を図ることが適当であると認められるものを定め、そのために必要な措置を講ずるものとする。

2 知事は、前項の施設を定めたときは、その名称、所在地その他必要な事項を告示しなければならない。

(市町村等の植物展示施設との連携等)

第16条 中央植物園及び前項の施設は、市町村その他の公共団体又は公共的団体が設置する植物展示施設と有機的かつ一体的な利用が図られるよう、これらの施設との密接な連携に努めるものとする。

2 知事は、前項の植物展示施設の設置者の求めに応じて、同項の規定の趣旨を達成するために必要な助言を行い、又は援助の措置を講ずることができる。

(情報の提供)

第17条 知事は、植物展示施設その他関係機関等の協力を得て、植物公園等に関する情報を収集し、県民に対し、これを適切に提供するように努めるものとする。

(規則への委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附則 略

別表（第8条、第9条関係）

1 入園料

区 分	単 位	金 額	
		個 人	20人以上の団体
一般、大学の学生及び高等学校の生徒	1人1回	600円	480円
中学校の生徒及び小学校の児童	につき	300円	240円

備考 知事が定める期間において午後4時以後で知事が定める時刻以後に入園しようとする者に係る入園料は、1人1回につき300円の範囲内で知事が定める額とする。

2 専用使用料

種別	使用時間区分による金額			超過料金1時間の金額
	9時から16時30分まで	9時から12時まで	13時から16時30分まで	
第1研修室	5,990円	3,000円	3,500円	1,000円
第2研修室	3,000円	1,500円	1,750円	500円
実習室	4,200円	2,100円	2,450円	700円
催し広場	3,720円	1,890円	2,190円	610円

## 備考

- 1 冷房又は暖房の期間中に第1研修室、第2研修室又は実習室を使用する場合の専用使用料は、この表に掲げる金額に、その額の20パーセントに相当する額を加算した額とする。
- 2 使用時間1時間未満の端数は、1時間として計算する。
- 3 使用時間を短縮した場合においても、専用使用料は、減額しない。

## ● 富山県植物公園条例施行規則（抜粋）

公布 平成5年10月1日 富山県規則第56号

改正 平成14年3月20日 富山県規則第8号

(趣旨)

第1条 この規則は、富山県植物公園条例（平成5年富山県条例第54号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(専用使用の承認申請)

第2条 条例第8条第1項の承認を受けようとする者は、専用して使用しようとする日（次条において「専用使用日」という。）の3月前から2週間前までの間に富山県中央植物園施設専用使用承認申請書（様式第1号）を知事に提出しなければならない。

(専用使用の変更等)

第3条 略

(休園日)

第4条 富山県中央植物園（以下「中央植物園」という。）の休園日は、次に掲げるとおりとする。ただし知事は、特に必要があると認めるときは、臨時に休園日を定め、又は休園日に開園することができる。

(1) 木曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第3条に規定する休日に当たる場合を除く。）

(2) 12月28日から翌年の1月4日までの日

(開園時間等)

第5条 中央植物園の開園時間は、午前9時から午後5時まで（1月5日から1月31日まで及び11月1日から12月27日までの期間にあっては午前9時から午後4時30分まで）とする。

2 中央植物園に入園しようとする者は、午後4時30分まで（1月5日から1月31日まで及び11月1日から12月27日までの期間にあっては午後4時）までに入園しなければならない。

3 知事は、特別に必要があると認めるときは、前2項に定める時間を臨時に変更することができる。

(原状回復及び点検)

第6条 略

(施設等の汚損又は損傷の届出)

第7条 略

(細則)

第8条 略

附則 略

様式第1号 略

様式第2号 略

## 6. 愛称とシンボルマーク

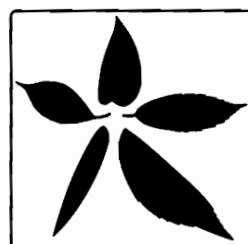
平成10年2月、公募によって決定。

愛称=ドリラス

「ドリラス」は、ギリシャ神話に出てくる「森の精」の意味。また、富山県の立山で最初に発見されたチョウノスケソウの属名（*Dryas*）でもある。

シンボルマーク

いろいろな植物の葉を集めて人の姿を表現したもの。見方によっては「大」の字や花の形にも見え、中央の二つの葉柄が女性の目のようにも見える。



**富山県中央植物園事業概要 第6号 (平成15年度)**

---

平成16年12月1日 発行

編集兼発行：富山県中央植物園

〒939-2713 富山県婦負郡婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

発行所：財団法人花と緑の銀行

〒939-2713 富山県婦負郡婦中町上轡田42

印刷：大東印刷株式会社

---

